

学科名	放送芸術科
コース名	
授業科目	映像リテラシー D 2
必選	必
年次	2年次
実施時期	後期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	馬場定雄
実務経験	有
実務経験職種	映像制作の演出
授業概要	この授業では、現代までの映像技術から最新の技術までのハードウェア及びソフトウェアの知識を学びその知識を元に想像力・発想力を膨らませ最終的には個々の技術力の向上を伸ばすことが目的である。
到達目標	これまで学習して来た映像技術をさらに一段階あげ最新の映像制作における映像技術の知識や様々な製作プロセスを理解し総合的な技術力の総仕上げとする。
授業方法	テキストを毎回配布し、重要ポイントを空欄にしてテキストに書き込み覚える。映像の視聴を交えながら重要ポイントを理解する。
成績評価方法	学期末に試験を行います。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。
履修上の注意	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。社会の桃子公に注意し自分でも、情報を収集、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に提示する。

授業計画	
第 1 回	CPRM+VR方式について 身近な家電製品(DVDやブルーレイディスクなど)に使われているコピー制御方式や録画方式を知る
第 2 回	DVDとブルーレイディスクについて 身近な家電製品(DVDやブルーレイディスクなど)に使われている技術やシステムの違いを理解する
第 3 回	モニターの種類(1)CRTと液晶テレビ 普段目にしていてテレビが実際にどのような技術で画像表示されているのか特徴や違いを理解する①
第 4 回	モニターの種類(2)プラズマと有機EL 普段目にしていてテレビが実際にどのような技術で画像表示されているのか特徴や違いを理解する②
第 5 回	ENGとENG機材の進化について ENGで使用されてきたカメラやVTRの種類を歴史的観点から見てENG機材の技術の進化を理解する
第 6 回	SONY新商品内見会について 毎年6月に行なわれるSONY新商品内見会を分かりやすく解説して最新技術を理解する
第 7 回	FPUとSNGの伝送システムについて 中継システムのFPUとSNGの特徴と違いを理解する。またモバイル通信やライブ配信も理解する
第 8 回	映像コネクタの種類について RCA、S端子、BNC、HDMIなど放送局や家庭用で使われている映像コネクタの種類を理解する
第 9 回	映像ケーブルの種類について 一般的に使用されている同軸ケーブルの種類や構造を理解する
第 1 0 回	映像信号の種類(1)コンポジット 映像信号のアナログコンポジットの特徴や構造を理解する
第 1 1 回	映像信号の種類(2)コンポーネント 映像信号のデジタルコンポーネントの特徴や構造を理解する
第 1 2 回	映像信号の種類(3)デジタルとアナログ 現在の主流であるデジタル信号の解説とレコードを例としたアナログ信号の特徴と違いを理解する
第 1 3 回	映像信号の種類(4)コンポーネント4:2:2 現行の放送機器に最も多く使用されているコンポーネント4:2:2方式を理解する
第 1 4 回	映像信号の種類(5)RGB4:4:4 これからの放送機器に使用されるRGB4:4:4方式を理解する
第 1 5 回	後期まとめ復習